

深志卓球部だより

2010, 5, 18

高校総体中信大会を終えて

学校男子対抗 3位 女子学校対抗 初戦敗退

男子シングルス ベスト16 (松島祥晃・田原祐希)

男子ダブルス ベスト8 (松島祥晃・田原祐希組)

学校対抗1回戦 (対南安曇農業)		
深 志	3 - 0	南 農
松 島	11 - 8	降 旗
	11 - 9	
	11 - 1	
田 原	11 - 5	高 橋
	11 - 3	
	11 - 8	
橋 詰 東	11 - 7	降 旗 濱 沢
	11 - 8	
	11 - 8	

学校対抗2回戦 (対梓川)		
深 志	3 - 1	梓 川
松 島	6 - 11	北 原
	11 - 5	
	11 - 4	
	11 - 8	
東	11 - 7	和 田
	1 - 11	
	7 - 11	
	7 - 11	
松 島 田 原	9 - 11	岩 下 和 田
	16 - 14	
	11 - 5	
	11 - 6	
田 原	11 - 7	小 林
	11 - 9	
	4 - 11	
	11 - 9	
橋 詰	7 - 11	岩 下
	10 - 12	
	5 - 11	

今大会は三年ぶりに男女で団体戦に出場することができ、学校対抗の試合が盛り上がりを見せた。男子は昨年の新人戦で失速した結果、今回はノーシードで臨んだ中信大会となった。

初戦は難なくこなすことができたが、二回戦以降の相手は、いずれも総合力は相手が上であり、まったく油断できない拮抗した試合が予想された。県大会出場をかけた対梓川戦でも、二番を落とし、五番の試合が先に終了

して、四番の結果次第となる。いつもながら田原が要所をおさえ、梓川の反撃を絶って県大会出場を決める。

ベスト4入りをかけた県が丘戦も今大会の注目を集めた試合であった。どちらにもシングルの県大会ランキング選手が2名おり、実力伯仲のところには1年生の有望選手を加えており、総合力からいえば相手が有利な状況である。加えて今月上旬の伊那オープンでは相手の結果が上回り、苦戦が予想された。ともにオーダーに悩んだが、後半に賭けた県が丘と前後に力を振り分けた深志との違いが微妙に結果を分けた。前半を2-0に折り返したあといよいよ相手の反撃が始まる。ダブルスをストレートに封じられ、5番を落とした後、勝敗は4番に

学校対抗 3 回戦 (対松本県ヶ丘)		
深 志	3 - 1	県ヶ丘
橋 詰	1 1 - 7	中 川
	1 1 - 5	
	1 1 - 2	
松 島	1 3 - 1 1	奥 原
	1 1 - 9	
	1 1 - 8	
田 原	3 - 1 1	上 條
	6 - 1 1	
松 島	7 - 1 1	佐 藤
田 原	1 0 - 1 2	上 條
	6 - 1 1	
	1 1 - 9	
	1 1 - 6	
	1 1 - 6	
東		佐 藤

かかってくる。

2セット連取され後のない展開となる。ここから田原が踏ん張り、チームの勝敗の行方をかけて驚異的な粘りでタイに追い上げる。最終セットも相手にリードを許すことなく、ものにして難敵を退けることができた。

ここまできると疲労もたまってくるが、休むまもなく準決勝が始まる。次が因縁の対決松本工業戦である。昨年のこの大会は大逆転で勝ちを収めたが、今回は相手の執念がはるかに上を行き、どうやっても付け入る隙を見出すことができなかった。頼みの1・3番を落とすともう相手の勢いをとめることができず、一方的な結果に終わる。

続く大町戦も意外にもつれ、どちらに転ぶか分からない展開をみせる。

学校対抗準決勝 (対松本工業)		
深 志	0 - 3	松 工
松 島	8 - 1 1	山本卓
	5 - 1 1	
	1 1 - 9	
橋 詰	7 - 1 1	山本周
	8 - 1 1	
	3 - 1 1	
松 島	8 - 1 1	山本卓
	1 1 - 8	
	5 - 1 1	
田 原	9 - 1 1	務 台
	1 1 - 7	
	6 - 1 1	

学校対抗 3 位決定戦 (対大町)		
深 志	3 - 1	大 町
東	4 - 1 1	丸 山
	4 - 1 1	
	6 - 1 1	
松 島	1 1 - 9	横 澤
	1 1 - 5	
	1 2 - 1 0	
松 島	9 - 1 1	村 田
	1 1 - 9	
	1 1 - 9	
田 原	5 - 1 1	矢 口
	1 1 - 9	
	1 1 - 5	
田 原	7 - 1 1	村 田
	6 - 1 1	
	1 1 - 7	
	1 1 - 9	
	1 1 - 9	
橋 詰	5 - 1 1	矢 口
	7 - 1 1	
	1 1 - 9	
	1 0 - 1 2	

2番から取り返しにかかり、松島がタイに戻し、ダブルスにつなげる。ここでも内容的に大きな差がなく、一進一退の攻防で進むも敬虔さで辛くも逃げ切ることができた。後半の5番が先に決着がつき、勝敗は4番にかかってくる。相手のエースとの対決になり、先に二セット先取されるも、そのあとから落着いた試合運びで二セットを取り返し、3位決定戦をようやく制することができた。試合の最後を勝利につなげた田原の存在が大きく光った今大会であった。 一方この大会に四年ぶりに団体出場した女子チームであるが、初戦を突破すれば、県大会に進めるだけに、大接戦となった。 1番を幸先よく先取するも、2番は相手のエースで、経験の差が大きくタイにもどす。天王山のダブルスに試合の流れがかかるが、どのセットもジュースになる接戦をものにしたのは相手方であった。4番は1年生ながら中学時代に県大会優勝経験を持つ遠藤が、前半の不利な展開をはねかえして再び対にもつれこむ。 しかし5番までくるとチーム力の厚い美須ヶが圧倒的に有利であり、これまでの試合経験からしても流れが相手の傾くのはやむをえない結果であった。 今回は県大会出場を逃したが、次の新人戦には期待ができる。 団体戦の結果は、男女とも松商が安定した力で優勝した。特に男子は昨年のインターハイベスト16のメンバーがそのまま残っており、県内で対抗できる勢力はいまのところない。 シングルス・ダブルスにおいても、男子は松商がすべて上位を独占し、他校の付け入る隙を見せなかった。 続く県大会は来月の3～5日に長野市で行われるが、組み合わせに一喜一憂することなく全力で試合を進めてもらいたい。	女子学校対抗1回戦（対美須ヶ）		
	深 志	対	美須ヶ
	高 山	1 1 - 7	藤 田
		1 1 - 6	
		1 1 - 6	
	久根下	7 - 1 1	唐 沢
		2 - 1 1	
		5 - 1 1	
	高 山 木 下	1 1 - 1 3	唐 沢 松 尾
		1 3 - 1 1	
		1 1 - 1 3	
		1 0 - 1 2	
	遠 藤	8 - 1 1	松 尾
		1 0 - 1 2	
		1 4 - 1 2	
		1 1 - 5	
	木 下	1 1 - 5	飯 村
		9 - 1 1	
		7 - 1 1	
		4 - 1 1	